

3・3 アジア船主協会(ASA)

3・3・1 ASA 総会

ASA は、香港船協の主催により、2018 年 5 月 14 日から 16 日にかけて、香港で第 27 回総会を開催した。当協会から、武藤光一会長、稲葉慎司・磯田裕治両副会長、當舎裕己理事、小野芳清理事長らが出席した他、アジア 8 地域、13 船協(日本、韓国、中国、台湾、香港、ASEAN(ブルネイ、インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム)、豪州)から約 150 名が参加した。

ASA は、1992 年に第 1 回総会(当協会主催)を開催して以来、メンバー国／地域の船主協会が北から南の順で毎年議長を回り持ちしながら総会を開催しており、毎年の年次総会の間に 5 つの常設委員会(船員(SC)、船舶保険・法務(SILC)、航行安全・環境(SNEC)、海運政策(SPC)、シップリサイクリング(SRC))がそれぞれ中間会合を開催している。5 つの常設委員会の構成および各委員会への当協会代表(2018 年 5 月 14 日時点)は【資料 3-3-1-1】のとおりである。

第 27 回 ASA 総会では、総会前に各常設委員会が個別会合を開催し、主要議題の状況について意見交換された。その後の総会においては、前年度決算・当該年度予算や次期正副会長等、ASA の組織に関する事項が審議・了承された。また、各委員会委員長より 1 年間の活動概要が報告された。総会の後には、ICS 等の国際海運団体や、造船・船級団体等と意見交換する「シッピング・フォーラム」が開催され、海運に関する主要課題について活発な議論が行われた。

総会終了後には、海上労働条約、環境保護に係る IMO 規制、油濁補償関連条約、保護主義貿易、シップリサイクル等に関する ASA の意見をまとめたプレスリリース(【資料 3-3-1-2】参照)が発表された。

次回第 28 回総会は、2019 年 5 月にアセアン船主協会連合の主催により、バンコクにおいて開催予定である。

3・3・2 ASA 会長会議

ASA 加盟船協会長で構成される ASA 会長会議は、2018 年 5 月 14 日に香港で ASA 総会に併せ第 23 回会合を、同年 11 月 7 日にバンコクで第 24 回会合をそれぞれ開催した。

いずれの会長会議も、予算執行状況、次年度予算案といった ASA の運営に関わる問題と、他地域団体との連携強化、賛助会員制度導入やこれに係る ASA 定款改訂などの ASA の組織拡充、活動活性化に向けた方策について議論された他、各常設委員会の活動について意見交換された。

3・3・3 各委員会における活動状況

1. 海運政策委員会(SPC)中間会合

当委員会(委員長:当協会磯田副会長)は第 31 回 SPC 中間会合を 2019 年 3 月 13 日にシンガポールで開催した。同会議には、日本、韓国、台湾、ASEAN 各船協の代表 17 名が出

席し、2020 年船舶燃料油 SOx 規制に対する社会認識向上の必要性について出席者が現状認識を共有したほか、保護主義の動向を含めた最近の世界各地の海運政策や、独禁法適用除外問題などの海運業界に係る政策課題について外部識者による講演を交えた意見交換が行われた。(会議概要【資料 3-3-3-1】、出席者【資料 3-3-3-2】参照)

2. 船員委員会(SC)中間会合

船員委員会(Seafarers Committee:SC)は 2018 年 10 月 16 日に中国・廈門で第 24 回中間会合を開催した。同会合では、日本、中国、台湾、香港の各船協が出席し、Fu Xiangyang 委員長(中国船協)の下、船員確保の現状、国際労働機関(ILO)海上労働条約や、船員の訓練および資格証明並びに当直の基準に関する国際条約(STCW 条約)改正に係る各国の取り組み状況、船員のメンタルヘルス等について意見交換が行われた。

3. 船舶保険・法務委員会(SILC)中間会合

船舶保険・法務委員会(Ship Insurance and Liability Committee:SILC)は 2019 年 3 月 19 日に香港で第 24 回中間会合を開催し、日本、韓国、台湾、香港、ASEAN の各船協が出席した。同会合では、William Peng 委員長(香港船協)の下、環境損害に関しプレステージ号に関するスペイン最高裁判決の影響、条約の首尾一貫した適用および統一的な解釈等の意見交換が行われた他、HNS 条約について今後の動向を注視していくことが確認された。

4. 航行安全・環境委員会(SNEC)中間会合

航行安全・環境委員会(Safe Navigation and Environment Committee:SNEC)は中間会合を以下のとおり開催し、Esben Poulsson 委員長(シンガポール船協)の下、2020 年船舶燃料油 SOx 規制、船舶バラスト水規制管理条約(BWM Convention)、GHG 排出規制問題および海賊問題など海上安全・環境保護に関連する諸課題について意見交換が行われた。

第 35 回中間会合:2018 年 10 月 18 日 於 シンガポール

(日本、韓国、ASEAN の各船協が出席)

第 36 回中間会合:2019 年 3 月 12 日 於 シンガポール

(日本、韓国、香港、ASEAN 等の各船協が出席)

5. シップリサイクリング委員会(SRC)中間会合

シップリサイクリング委員会(Ship Recycling Committee:SRC)は、第 22 回中間会合を 2019 年 3 月 15 日に台湾・台北で開催し、日本、韓国、中国、台湾、香港、ASEAN の各船協が出席した。同委員会は、Mr. Ron Huang 委員長(台湾船協)の下、香港条約(シップリサイクル条約)の早期発効に向け、主要解撤国での実地調査で確認したシップリサイクルヤードの改善状況等の共有や関連する国際イベントへの参加など積極的に活動している。会合では、その報告および意見交換を行うと共に、今後の対応方針を含む共同声明を採択した。